

【今年度の生活支援コーディネーターの取組みを紹介します！】

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月1日～5月31日、11月7日～2月15日までの約5か月間活動休止となりました。そのため、限られた中での取組みとなりましたが、感染対策を徹底しながら活動の場に訪問させていただきました。



7月 稲穂金山地区福まちふれあいサロンを訪問しました。コロナ禍で外出機会が減る中、月1回のサロンを通し、知人と交流する事を楽しみにしている方がいることを知りました。



11月 生活応援ボランティアグループ「コルリ」のメンバーにお話をうかがいました。お互いさまの気持ちをもって住民同士で助け合いをする大切さを教えていただきました。



12月 クリオネ曙6条薬局の沼田薬剤師から「薬局で相談できること」についてお話を聞いた事をきっかけに、区内23の薬局で実施しているサービスを情報提供いただき、本会ホームページにまとめることができました。



12月 新発寒地区福祉のまち推進センター主催の「江戸寄席芸を楽しむ集い」を訪問しました。感染対策を万全にした中で皆様が楽しまれており、大きな拍手が起きていました。



【2月25日手稲鉄北地区生活支援推進連絡会（稲山地区）を開催しました！】

当日は、地域の方から以前より**多世代にわたる見守り活動が行われている様子**のご報告がありました。

また、稲山地域で昨年8月に行ったアンケート調査結果から、お互いの困りごとを**手助けできる人が多く、その項目も幅広い地域である事**を共有しました。

今後、地域の方々・関係機関と話し合いを重ね、支え合いに活かしていくため、具体的な困りごとを把握するアンケート調査を行っていくことになりました。



▲初めて、4つの会場をオンラインで結んでの会議を開催しました。



【2月26日 前田地区生活支援推進連絡会（ひまわり町内会）を開催しました！】



当日は、地域住民・関係者17名が参加しました。昨年7月に実施した生活状況のアンケート結果を情報共有し町内会の現状について意見交換をしました。

「**話し相手が少なく寂しい**」「**子育て世代や男性がサロンに参加できると、交流が広がる**」など、様々な意見が出ました。多世代の方がサロンに参加できるような方法などを地域の皆様と考えていきたいと思いました。

▲オンラインを使用しながら連絡会を行いました！



今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、外出等が制限されたため地域での交流が減少し、「**話し相手が欲しい**」という声を多く聞きました。また、「除雪」や「ゴミ出し」など困り事は多様化していると感じた一方、手助けできるという方もいました。次年度も地域を訪問し、困りごとを抱えている人と手助けできる人を繋げて、地域で支え合う方法を皆様と一緒に考えていきたいと思ひます。

（生活支援コーディネーター 菅原・加藤）



社会福祉法人 札幌市手稲区社会福祉協議会

住所 札幌市手稲区前田1条11丁目 手稲区民センター1階

電話 (011)681-2644 FAX (011)684-8560

手稲区社協ホームページ <https://www.sapporo-shakyo.or.jp/about/teine-shakyo/>